

到達目標1 臨床判断能力と問題解決能力

	《自己評価》	《指導医評価》
1 消化器内科に必要な基礎的知識(解剖・生理など)を理解する	A・B・C	A・B・C
2 消化器内科疾患の病因、病態、疫学に関する知識を習得する	A・B・C	A・B・C
3 消化器内科疾患に必要な検査法を習得する		
①尿検査、便検査、末梢血・凝固検査	A・B・C	A・B・C
②肝機能検査	A・B・C	A・B・C
③腫瘍マーカー、肝炎ウイルス検査	A・B・C	A・B・C
④細菌学検査病理組織学的検査・細胞診	A・B・C	A・B・C
⑤胸腹部単純X線、上下部消化管造影CT、MRI	A・B・C	A・B・C
4 消化器疾患に必要な検査法について、実施、評価ができる		
①直腸診(実施)	A・B・C	A・B・C
②胸腹水穿刺(介助)	A・B・C	A・B・C
③腹部超音波(実施)	A・B・C	A・B・C
④上部・下部消化管内視鏡(介助)	A・B・C	A・B・C
5 基本的な治療法:治療の適応、方法などを独自に判断できるようにする		
①療養指導、食事療法(肝臓食、膵臓食、潰瘍食など)の指導	A・B・C	A・B・C
②経腸栄養法および中心静脈栄養法の指導、管理	A・B・C	A・B・C
③薬物療法	A・B・C	A・B・C
④輸液、水電解質管理	A・B・C	A・B・C
⑤血液製剤の使用	A・B・C	A・B・C
⑥胃管の挿入と管理	A・B・C	A・B・C
6 専門的治療の実際を見学し要点を理解する。検査を介助し、術前後の患者管理を習得する		
①イレウス管、SBチューブの挿入	A・B・C	A・B・C
②食道静脈瘤に対する内視鏡的治療(EVL/EIS)	A・B・C	A・B・C
③内視鏡的ポリペクトミー、粘膜切除術、止血術	A・B・C	A・B・C
④超音波ガイド下処置(肝生検・肝局所治療など)	A・B・C	A・B・C
⑤腹部血管造影・肝動脈塞栓術	A・B・C	A・B・C
⑥逆行性膵胆管造影・経皮経肝胆道造影および胆道ドレナージ	A・B・C	A・B・C

到達目標2 消化器疾患の治療、専門的な臨床検査 下記に示す消化器疾患の治療や専門的検査に参加する

		経験
処置	直腸診	
	胃洗浄	
	イレウス管挿入	
検査	上部消化管内視鏡検査	
	大腸内視鏡検査	
	カプセル小腸内視鏡検査	
	超音波内視鏡検査	
	造影超音波内視鏡検査	
	ERCP	
	PTCD	
	EVL/EIS	
EMR/ESD		
治療	消化管出血に対する内視鏡止血術	
	超音波下処置（生検/RFA）	
	肝動脈塞栓術	
	抗がん剤治療	
	麻薬の使用・緩和ケア	

		経験
症候	胸焼け、嘔吐、嘔気、嚥下困難	
	腹痛	
	吐血、下血	
	便通異常（下痢・便秘など）	
	黄疸	
疾患	腹部膨満（腹水・鼓張など）	
	急性腹症	
	食道静脈瘤	
	食道癌	
	胃癌	
	胃・十二指腸潰瘍	
	炎症性腸疾患	
	大腸ポリープ・癌	
	慢性肝炎・肝硬変	
	肝臓癌	
	胆石・胆管胆嚢炎	
	膵炎	
膵癌・胆道癌		

到達目標3

	《自己評価》	《指導医評価》
1 医療スタッフとのグループ診療を実施することができる	A・B・C	A・B・C
2 消化器疾患診療における適切なインフォームドコンセントを得ることができる	A・B・C	A・B・C
3 院内や学会主催の医療安全に関する研修を受けている	A・B・C	A・B・C

到達目標4 EBMに基づく学習方略を習得する

	《自己評価》	《指導医評価》
1 院内研修会や学術集会に出席し、研究発表や症例報告を行う	A・B・C	A・B・C
2 担当症例の問題解決や、学術研究の目的に、資料の収集や文献検索を行うことができる	A・B・C	A・B・C